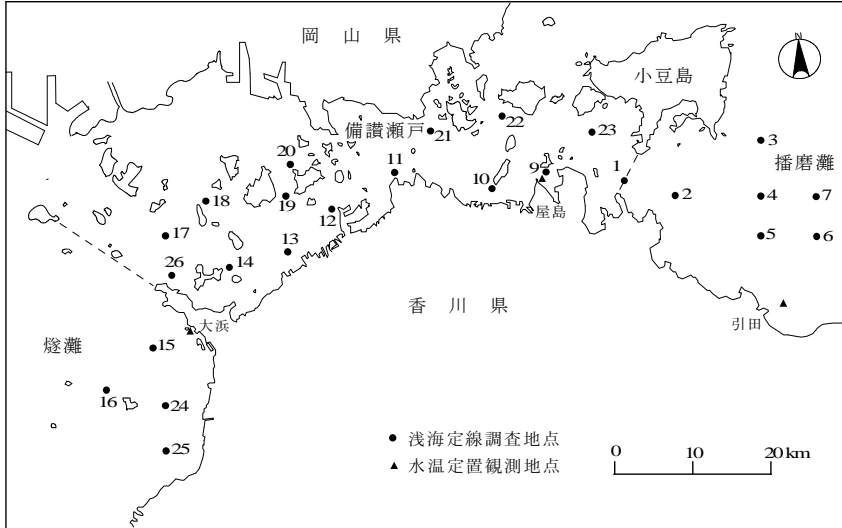


香川県漁海況情報 平成24年10月 (H24-7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成24年10月1日 (備讃瀬戸, 燧灘), 2日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めからかなり高め」、塩分は「やや低め」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	26.0	26.0	26.0	31.2	31.3	31.4	9.4	4.15	4.11
	平年値	25.1	25.0	24.9	31.7	31.8	31.9	7.0	4.39	4.10
	平年偏差	0.9	1.0	1.1	-0.5	-0.5	-0.6	2.4	-0.24	0.01
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	2.5	0.31	0.44
	状況	やや高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	26.1	26.1	26.1	30.8	30.8	30.9	2.4	3.91	3.95
	平年値	24.9	24.8	24.8	31.6	31.7	31.7	4.0	4.25	4.17
	平年偏差	1.2	1.3	1.3	-0.8	-0.8	-0.8	-1.6	-0.34	-0.22
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	1.6	0.35	0.33
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	26.0	26.1	26.1	31.3	31.3	31.3	6.4	4.06	3.76
	平年値	24.8	24.6	24.5	31.9	32.1	32.2	7.8	4.67	4.06
	平年偏差	1.3	1.5	1.6	-0.6	-0.8	-0.8	-1.4	-0.61	-0.30
	標準偏差(σ)	1.3	1.2	1.2	0.8	0.8	0.7	2.8	0.43	0.73
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	かなり低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和56年(1981)1月~平成22年(2010)12月

溶存酸素: 昭和56年(1981)2月~平成22年(2010)12月

水温は, 毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

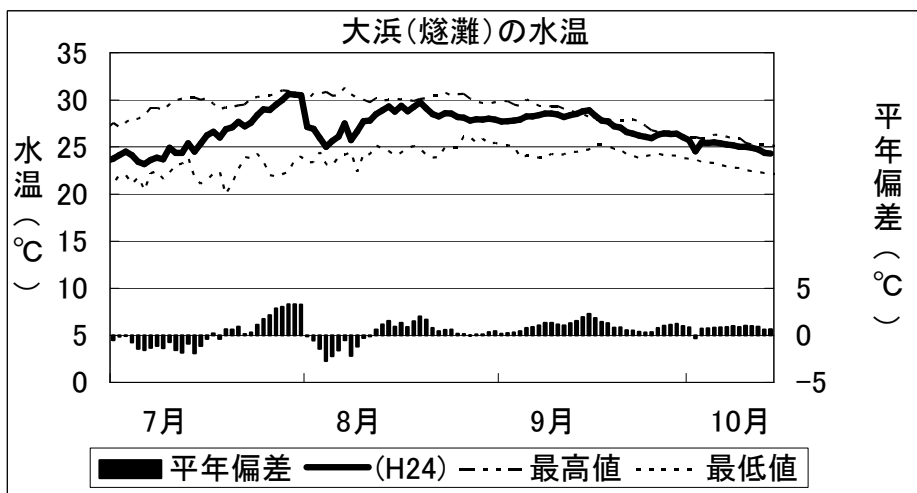
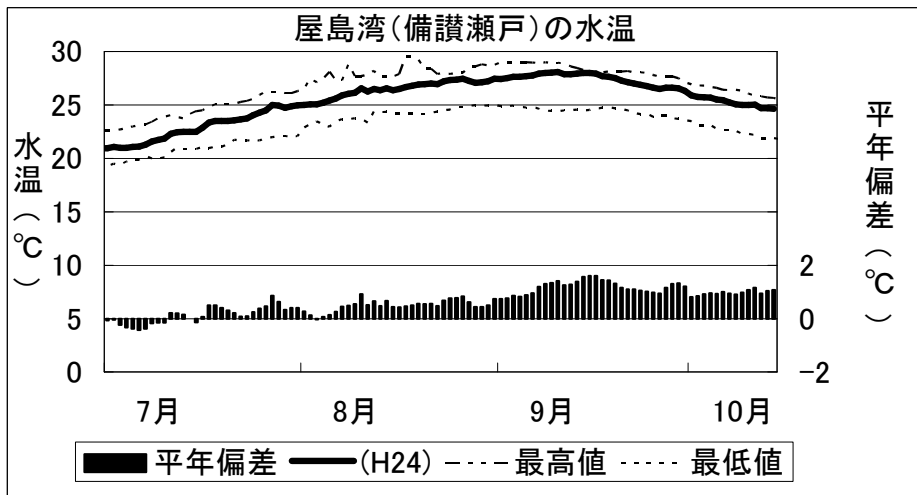
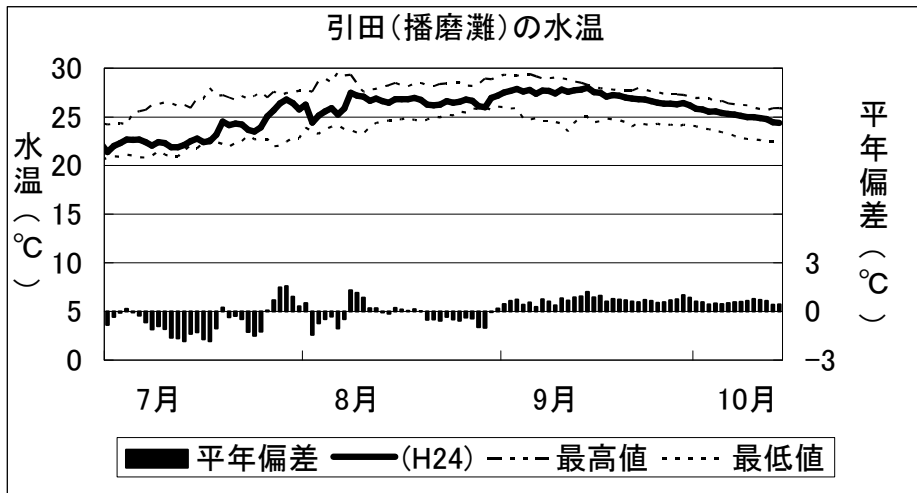
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 7, 8月は平年並みからかなり低め, 9, 10月は平年並みからやや高めで推移している。(7月中旬に2日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 7, 8月は平年並みからやや高め, 9, 10月はやや高めからかなり高めで推移している。(9月中旬に1日, 過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 7月は平年並みからかなり高め, 8月はやや低めから平年並み, 9月は平年並みから甚だ高め, 10月はやや高めからかなり高めで推移している。(7月下旬に1日, 9月中旬に3日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 23 (2011) 年



4) 赤潮 (9月20日～10月19日)

播磨灘:10月9日に小豆島東部・東かがわ市沖合で *Mesodinium rubrum* による赤潮が確認された。
 備讃瀬戸:10月12日に屋島湾で *Skeletonema* sp. と *Chaetoceros* spp. による赤潮が確認された。
 燧灘:発生無し

5) 卵稚仔

調査日:平成24年10月1日(備讃瀬戸, 燧灘), 2日(播磨灘)

出現量

ー: 平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

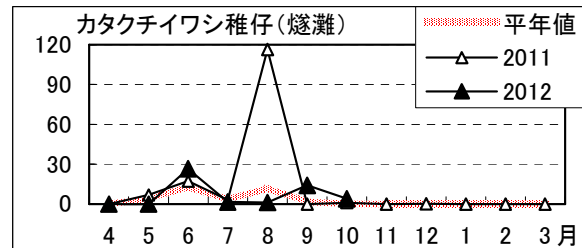
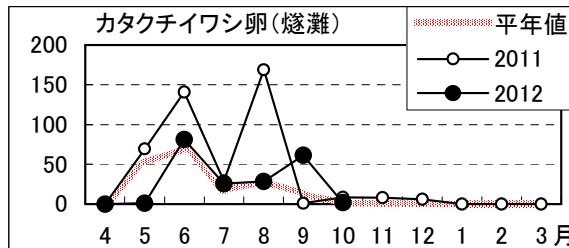
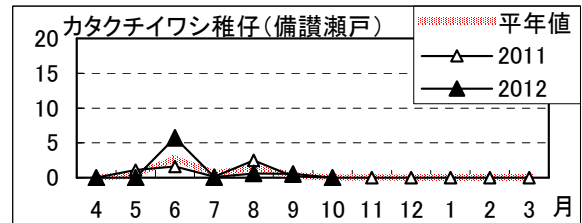
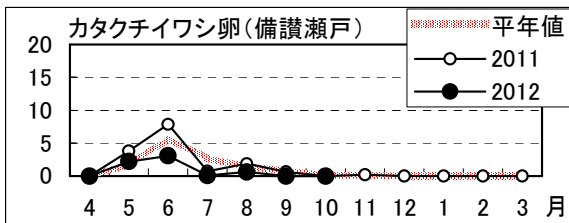
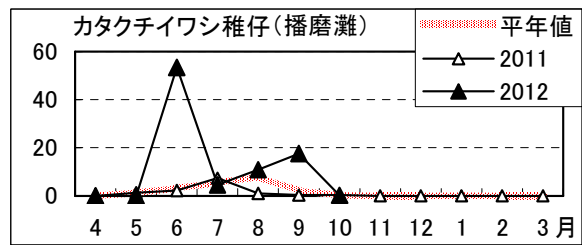
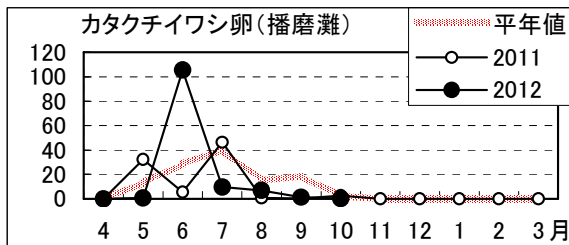
平年値の算出期間

カタクチイワシ: 昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

マイワシ: 平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.1	0.3	0.0	0.0	0.6	2.8
	平年値	2.1	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	5.9	103.8	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	-	-		
燧灘	平均値	1.7	4.0	0.0	0.0	0.7	0.6
	平年値	1.4	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	123.7	2,876.4	-	-		
総平均	平均値	0.4	1.0	0.0	0.0	0.4	1.0
	平年値	0.9	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	48.9	1,019.2	-	-		

*マイワシの卵・稚仔は, 平成14年度以降, 確認されていません。



平年値は1980年から2011年度の平均

2. 漁況

1) 9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではガザミ、小エビ、マダイ、クロダイ、カワハギ、メイタガレイ、ウシノシタ類、アカニシ、マアナゴ、クマエビ（アジアカ）、クルマエビ、コウイカ、アオリイカ、コイチなどが漁獲されている。例年に比べガザミが多い。</p> <p>建網ではメバル、カサゴ、マダイ、クロダイ、ウマヅラハギ、カワハギなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではタチウオ、マルアジ、ツバス、シオ（カンパチの若魚）、コウイカ、アオリイカ、カワハギ、ウマヅラハギなどが漁獲されている。</p> <p>あじ落網ではマルアジ、マアジ、タチウオ、イボダイ、マナガツオ、イカ類、キソゴ、カワハギ、シオ、ツバスなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では小エビ類、イイダコ、コウイカ、メイタガレイ、ウシノシタ類、マダイ、クロダイ、マアナゴ、ガザミ、クルマエビ、シロギス、マダコなどが漁獲されている。マダコは例年に比べ少ない。</p> <p>建網ではマダイ、ガザミ、クルマエビ、ウシノシタ類、オコゼ、コウイカなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではハモ、小エビ類、コウイカ、アカカマス、クルマエビ、ガザミ、メイタガレイ、シラサエビ、クマエビ（アジアカ）、クロダイ、ベイカ（ジンドウイカ）、シャコ、タチウオ、マルアジ（小）などが漁獲されている。小エビ類は1隻1日あたり20kg程度にまで減った。</p> <p>建網ではカサゴ、メバル、キジハタ、オコゼなどが漁獲されている。</p>

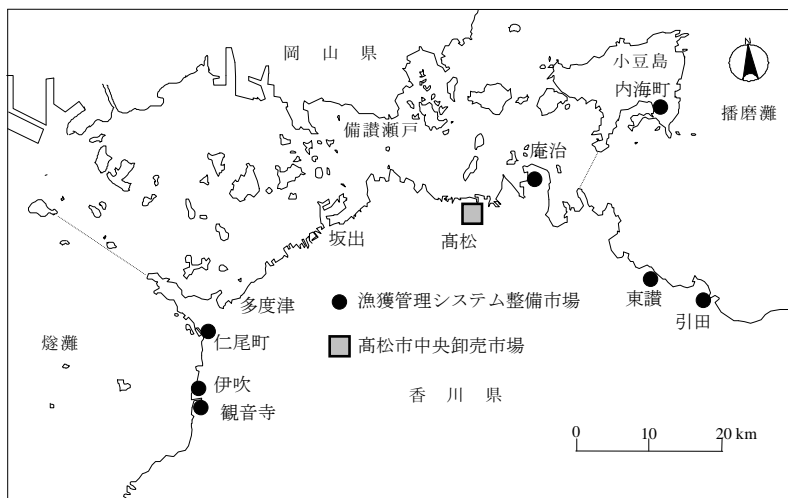
2) 香川県の漁獲情報

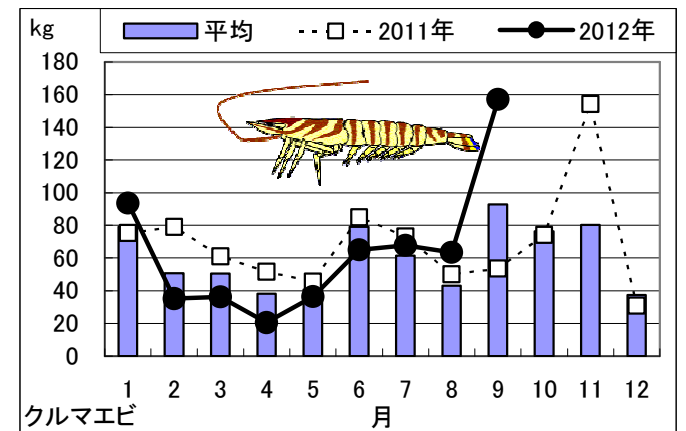
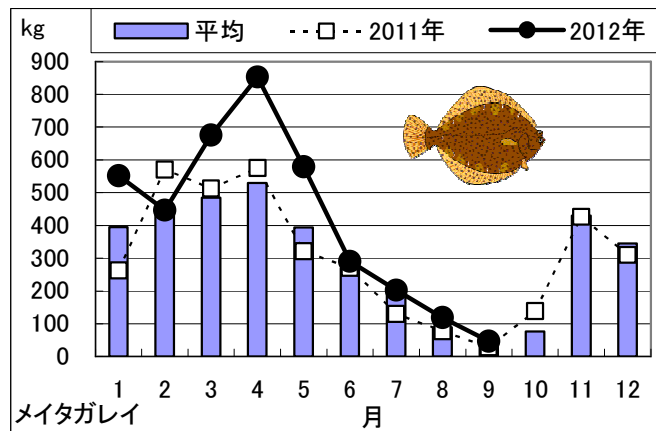
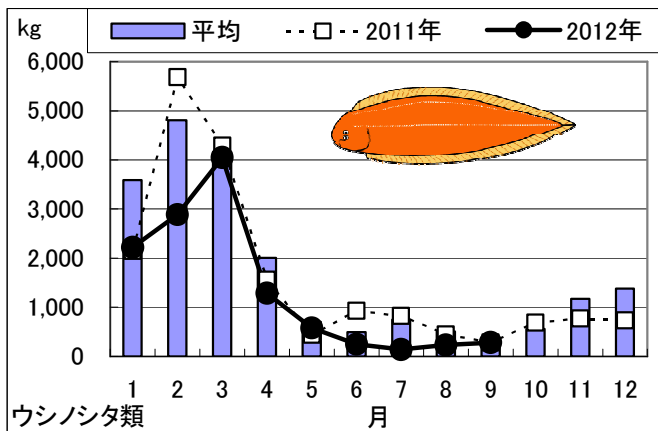
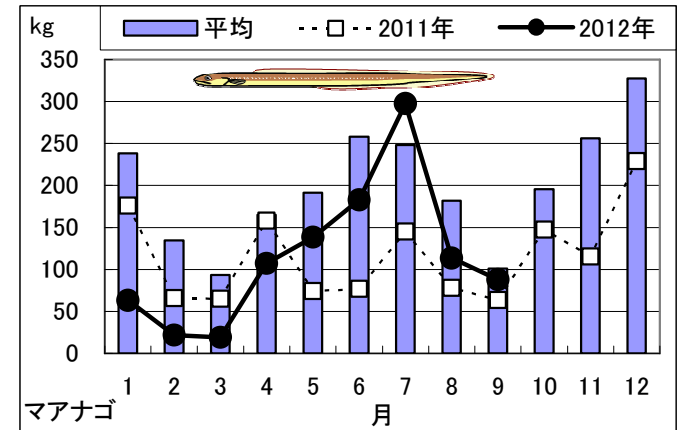
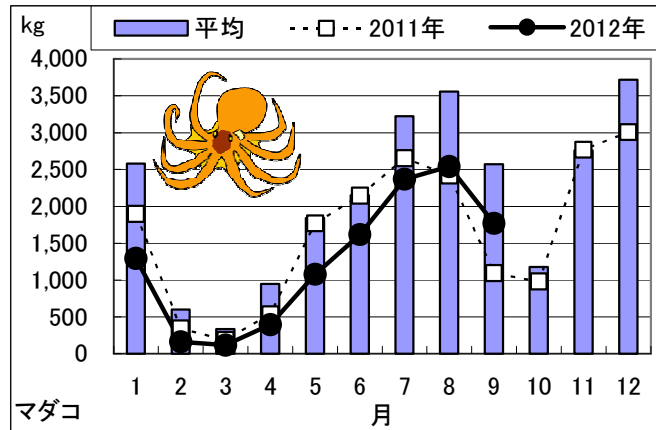
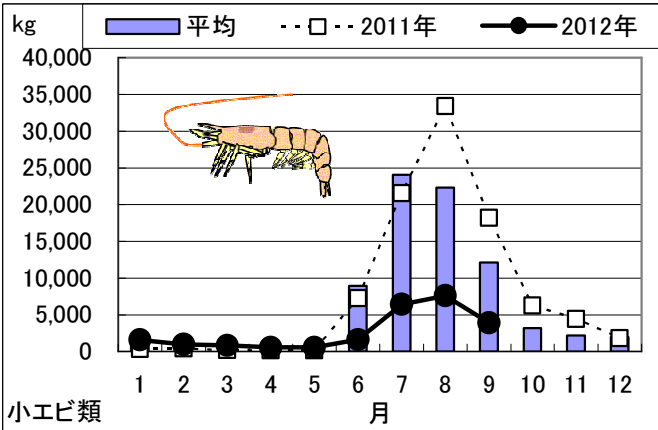
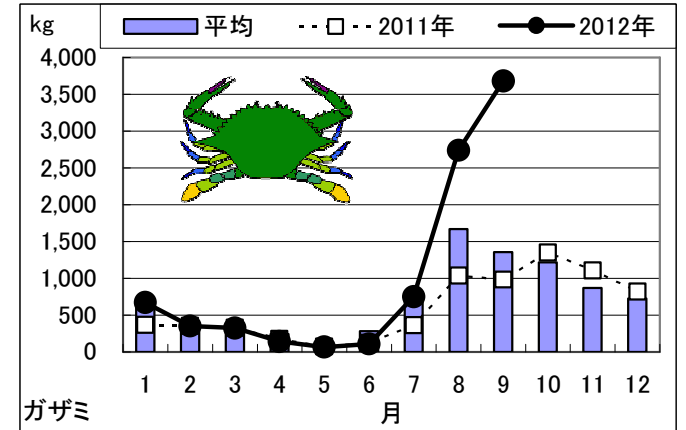
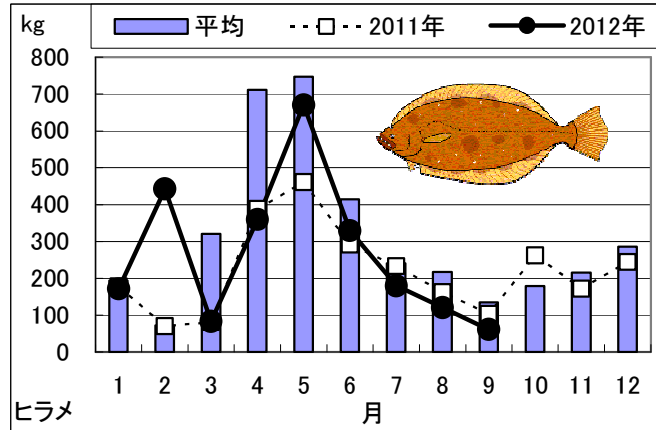
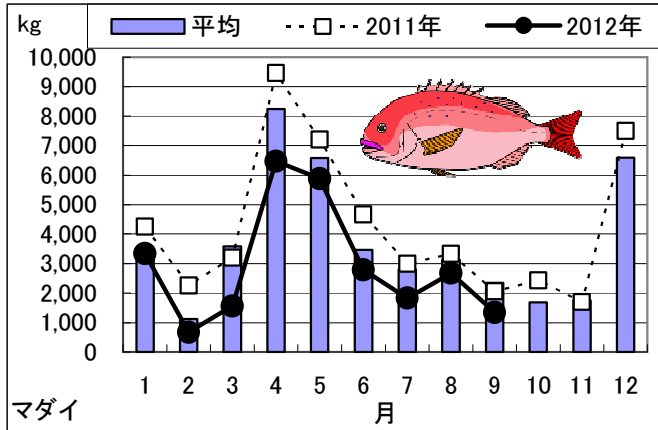
(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

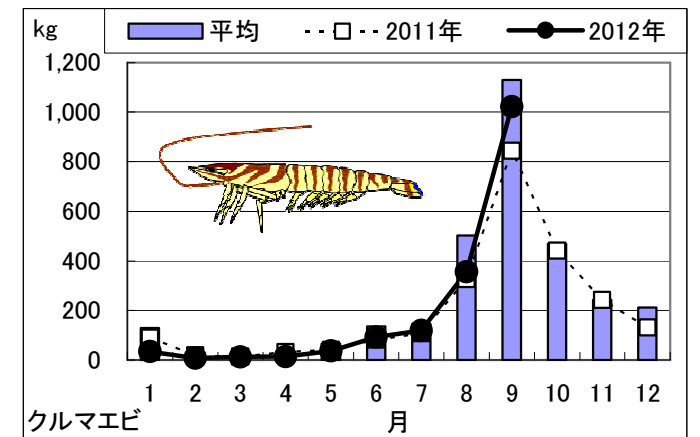
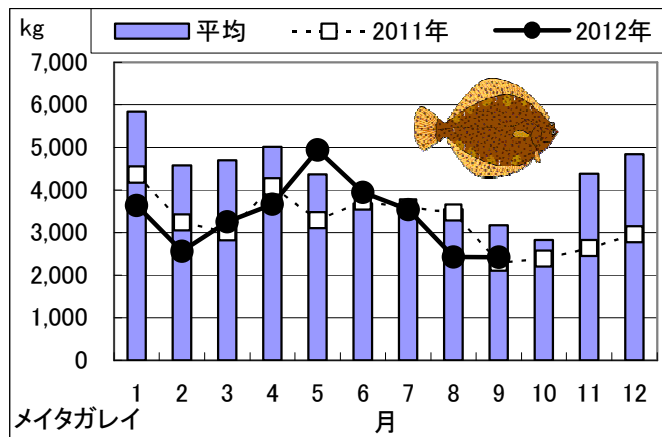
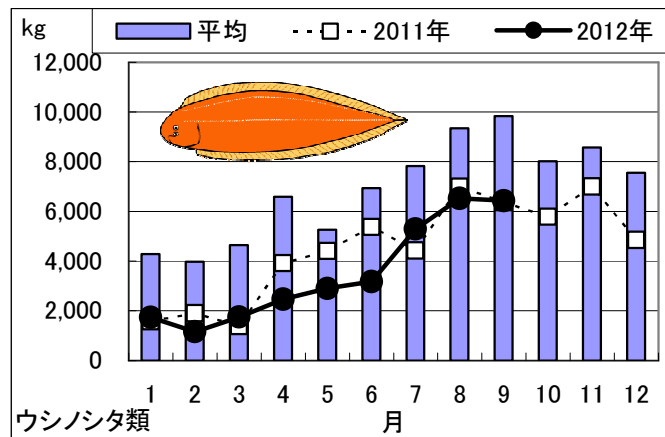
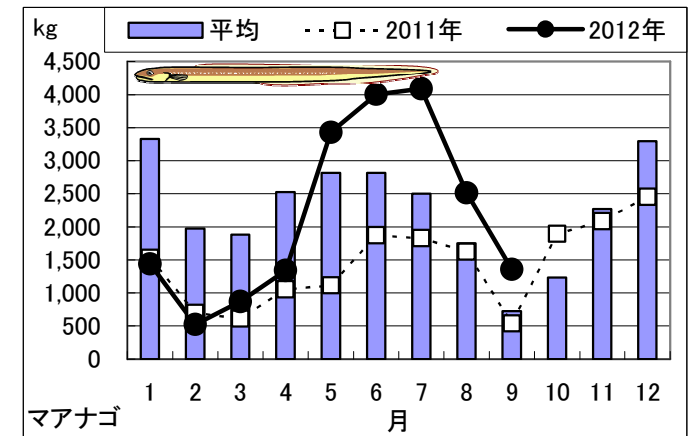
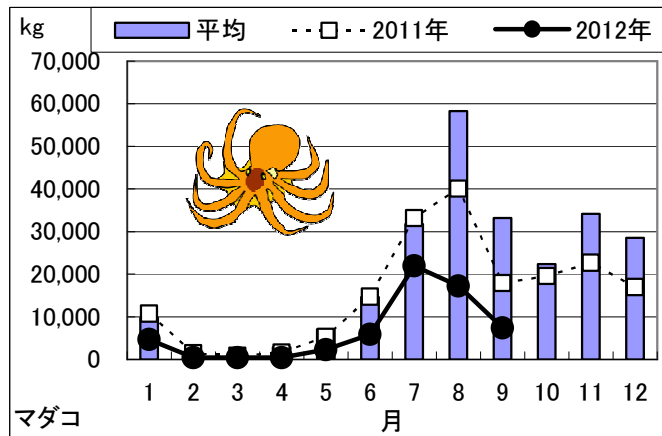
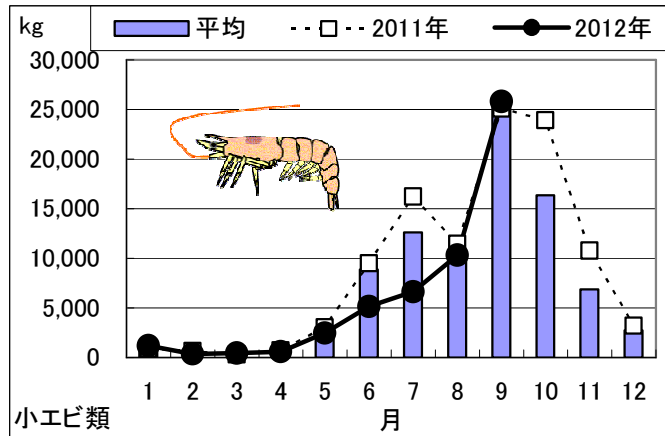
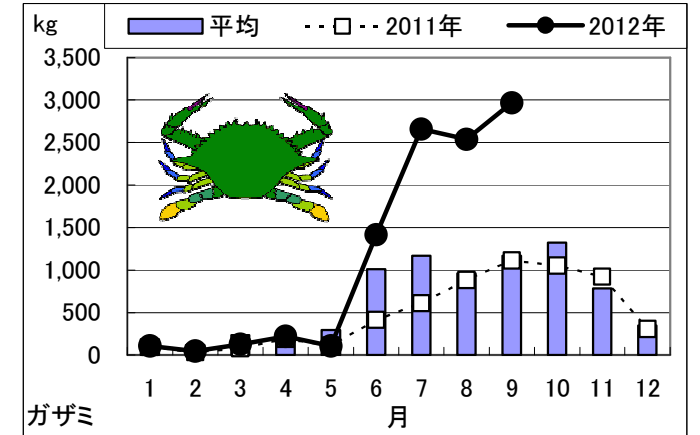
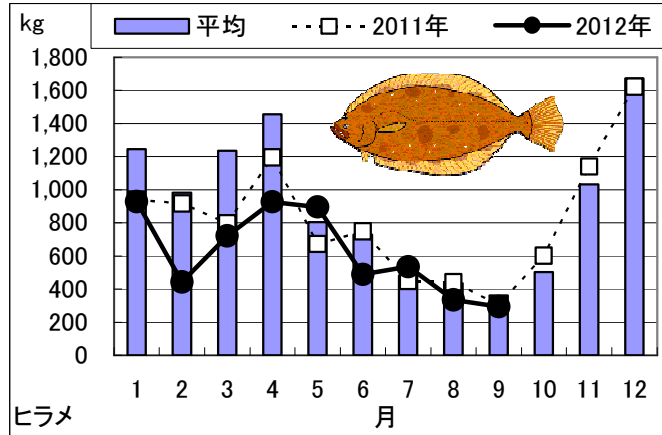
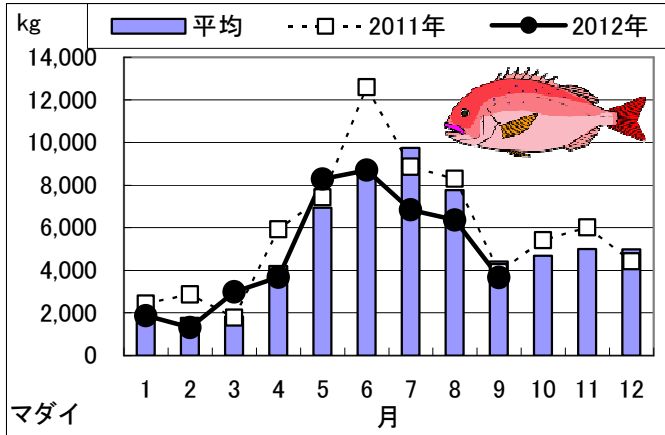
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。







燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより

平均値は、2007年から2011年の5年間の平均。

